

最近の県内景気動向

平成 13 年 8 月 29 日
日本銀行水戸事務所

～管内経済動向は失速状態～

最近の管内経済動向をみると、個人消費は盛り上がりや欠きつつも底固さを保っているが、製造業の生産が一段と抑制的になっているほか、企業の設備投資も製造業を中心に慎重な姿勢が見受けられており、こうした企業部門の落込みに引張られる形で失速状態にあるように窺われる。

《 個人消費 》

■ 7月の大型小売店の売上

猛暑により、日傘、帽子、扇子が高い伸びとなったほか、夏物婦人衣料や紳士用カジュアルウエアも、クリアランスセールと重なって、前半までは好売行きとなったが、後半は品薄状態となったうえ、早期に取組んだ中元ギフトが伸び悩んだこともあって、全体では前年比マイナス幅をやや拡大した（前年比：6月▲1.9%→7月▲4.3%）。この間、中元ギフトを6～7月通算でみると、個人向けはほぼ計画を達成するなどまずまずの成果を挙げたが、法人の節減姿勢が響いて、全体としては前年をやや下回った模様。

■ 7月の乗用車新車登録台数

新型車投入が相次ぐ中、既存車種の落込みを新型車の伸びが補う形で、堅調な売行きを続けており、普通車（前年比+8.4%）、小型車（同+5.7%）ともに前年を上回った。

■ 7月の家電販売

猛暑の中、エアコン、扇風機の売上げが大幅に増加したものの、これまで高い伸びを続けてきたエアコンが前年を下回っており、全体では前年並みに止まっている。

■ 旅行取扱状況

海外が家族向けのグアム、サイパン、韓国等の近場を中心に前年を上回っているほか、国内も前年を若干上回っている。もっとも、取扱金額は、割高なトップシーズンを避けたり、交通手段を自動車に変えて宿泊のみ予約するなど節約志向がみられ、前年並みに止まっている。

《 公共・住宅投資 》

■ 7月の公共工事請負金額

つくばエクスプレス関連等の大型工事の発注から、公団・事業団（前年比 2.8 倍）や国（同+46.2%）が大幅に増加、全体では年度入り後初めて前年を上回った（同+26.1%）。

■ 6月の新設住宅着工戸数

主力の持家（同▲4.7%）が減少を続けているものの、貸家（同+47.0%）および分譲（同+98.5%）が大幅に増加したことから、全体では前月に続き上回った（同+17.2%）。

《 生産動向 》

■ 5月の鉱工業生産

輸出や半導体関連需要の減退を背景に、操業度を引下げる動きが強まっており、電気機械、一般機械、化学を中心に前月を下回った（生産指数前月比：▲5.1%（原指数前年比▲0.2%））。

■ 5月の出荷

電気機械の大幅な減少を主因に、前月比マイナスとなった（出荷指数前月比：▲4.7%（同▲3.9%））。

■ 5月の在庫

昨秋一時的に増加したが、最近徐々に減少している（在庫指数前月比：▲2.0%（同±0.0%））。

■ 7月の産業用電力消費量

ウエイトの高い電気機械、非鉄金属等を中心に引き続き前年を下回っているものの、鉄鋼がプラスに転化したこともあり、前年比マイナス幅は縮小した（前年比：6月▲1.8%→7月0.7%）

茨城県主要経済指標

（前年比、%）

	12年	13/5	13/6	13/7
大型小売店売上高	▲6.2	▲1.3	▲1.9	▲4.3
乗用車新車登録台数				
[除く軽]	2.2	4.0	▲5.2	6.7
[含む軽]	3.2	▲0.8	▲5.0	2.1
渡航者数 [観光]	6.9	2.2	n.a	n.a
公共工事請負金額	▲7.5	▲28.2	▲3.2	26.1
新設住宅着工戸数	▲10.7	14.1	17.2	n.a
[持家]	▲3.7	▲15.5	▲4.7	n.a
産業用電力消費量	5.4	▲0.6	▲1.8	▲0.7
[大口電力]	5.8	0.2	▲1.0	▲2.1
鉱工業指数 [生産]	—	▲0.2	—	—
[出荷]	—	▲3.9	—	—
[在庫]	—	0.0	—	—
有効求人倍率 (倍)	0.65	0.68	0.67	0.67
倒産件数	13.1	64.3	2.1倍	▲48.1